

平成29年火薬類事故(確報)

〔 I 〕 総括表(取扱・種類別一覧表)

平成30年3月31日 現在

項 目		事故件数		死亡者数		負傷者数	
取 扱	種類別	件数	計	人数	計	人数(重-軽)	計
製造中	産業火薬	1	} 1	0	} 0	0 - 0	} 0 - 0
	煙 火	0		0		0 - 0	
	がん具煙火	0		0		0 - 0	
消費中	産業火薬	6	} 53	1	} 1	2 - 0	} 2 - 20
	煙 火	30		0		0 - 14	
	がん具煙火	17		0		0 - 6	
運搬中	産業火薬	0	} 0	0	} 0	0 - 0	} 0 - 0
	煙 火	0		0		0 - 0	
	がん具煙火	0		0		0 - 0	
貯蔵中	産業火薬	0	} 0	0	} 0	0 - 0	} 0 - 0
	煙 火	0		0		0 - 0	
	がん具煙火	0		0		0 - 0	
がんろう中	産業火薬	0	} 0	0	} 0	0 - 0	} 0 - 0
	煙 火	0		0		0 - 0	
	がん具煙火	0		0		0 - 0	
その他事故	産業火薬	2	} 4	0	} 0	0 - 1	} 1 - 3
	煙 火	2		0		1 - 2	
	がん具煙火	0		0		0 - 0	
合 計	産業火薬	9	} 58	1	} 1	2 - 1	} 3 - 23
	煙 火	32		0		1 - 16	
	がん具煙火	17		0		0 - 6	

〔Ⅱ〕 事故一覧

(産業火薬)

製造中

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
1	4月5日 15:20頃	群馬県 高崎市	0	0 - 0	C1	誘導弾の機能試験中に、ロケットモータが発火し、試験装置等が破損したものを。
合計		1件	0	0 - 0		

消費中

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
1	2月27日 8:50頃	宮城県 石巻市	0	1 - 0	C1	用材採取用の粘板岩(幅11m、奥行1.9m、高さ0.8m)を上下に割るため、ドリルで水平に穿孔(直径2.6cm、深さ67cm)し、その孔内にビニール袋に入れた黒色火薬及び導火線を入れ、砂利(3mm~5mm)による込め物を行い、真鍮製の込め棒で突き固めをしていたところ爆発し、負傷した。(重傷1名:左手第4、5指欠損)
2	4月18日 22:37頃	神奈川県 横浜市	0	0 - 0	C1	高速道路入口の消火栓箱の点検において、車線規制のために道路作業用信号焰管を使用。その際、点火された信号焰管が道路上のラバーボールに接触したため、時間の経過とともに着火した。当該入口を車で通過した者が火災を発見し、ペットボトルの水で消火した後で料金所の職員に知らせた。職員から連絡を受けた管制室が消防へ通報。(消防による消火活動はないものの、火災認定はあり。)
3	5月19日 10:00頃	鹿児島県 肝付町	0	0 - 0	C1	採石場において火薬類消費中に飛石(20cm大)が発生し、約400m離れた民家の軒1箇所を貫通し、窓ガラス等を破損した。
4	5月29日 15:40頃	福島県 いわき市	1	0 - 0	B1	採石場にて発破作業をしていたところ、発破で飛散した岩石が、砕石作業用のショベルカーの窓を破り、乗車していた男性作業員の腹部に直撃した。事故発生時、当該ショベルカーは発破場所から50m離れて待機していたものの、岩石が想定を超えて飛散したものと考えられる。負傷者は現場に到着のドクターヘリによる応急処置の後、同様に現場へ到着した救急車で病院へ搬送し、集中治療室で処置を行ったものの、同日20時頃に死亡。
5	9月25日 10:00頃	兵庫県 赤穂市	0	1 - 0	C1	火薬を使用した押し出し装置の試験作業において、作業者が試験装置に点火用火工品を取り付けた際に当該火工品が発火し、同作業者が左手親指指先を裂傷する重傷を負った。発火の原因は、無線を使用した点火装置が、誤動作したものの。
6	10月17日 11:30頃	千葉県 鋸南町	0	0 - 0	C1	採石場において、硬岩掘削の発破作業の振動により、県道鴨川保田線に長さ20mにわたり土砂が崩落。落石防止フェンスの一部が損壊した。また、それに伴いNTT及びKDDIの光ケーブルが土石の重みによりたわんだ。(機能的には問題なし)。発破作業1分前から、上下線とも通行止にしていたため通行車両等に被害はなし。流出した土石撤去及び崩落の危険性がある岩石の撤去を行い、安全性が確認されるまで全面通行止めの規制を行った。
合計		6件	1	2 - 0		

その他事故

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
1	3月14日 15:20頃	大阪府 大阪市	0	0-1	C1	倉庫内において、訓練用発煙用品と誤認して、火工品(火薬量2g)をスチール缶に入れて着火したところ、スチール缶が破裂し、軽傷(右手第3、4指の打撲)を負った。
2	12月26日 12:00頃	東京都 あきる野市	0	0-0	C2	信号焰管発火薬の残薬を廃棄処理中、塊を砕こうと新聞紙で包み、ビニール袋に入れ、皮手袋を付けた右手で近くにあった石を持って叩いたときに発火。その際、持っていた石が跳ね飛ばされ、1名の右手がやや腫れた(治療は不要)。
合計		2件	0	0-1		

(煙火)

消費中

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
1	5月1日 20:01頃	和歌山県 白浜町	0	0-0	C1	テーマパークにおいてショー演出のために仕掛煙火(乱玉方式で内筒を発射するもの)を消費中に、消費位置から約80m(安全距離外)の敷地内の雑木林を焼失した。
2	5月27日 20:45頃	山口県 山口市	0	0-0	C2	花火大会終了後、警戒に当たっていた消防隊が消費位置から約30m付近(安全距離内)の隣接する松林内から煙が上がっているのを確認したため、松林内を探索したところ雑木及び下草(約6㎡)が燃えているのを発見し消火した。
3	7月16日 20:52頃	大分県 津久見市	0	0-0	C1	花火大会において、台船上で10号玉の60段打ちを実施中に、11発目が過早発となり、台船のキャビンの窓ガラス3枚を破損した。
4	7月22日 20:15頃	三重県 紀北町	0	0-0	C2	港で開催された花火大会において、7号玉を単発(電気点火)で消費中に、1発が開発せずに海中(堤防の外)へ落下。当日及び翌日に黒玉を探索したが、発見できなかった。
5	7月22日 20:20頃	岐阜県 各務原市	0	0-0	C2	花火大会において、打ち揚げた2.5号玉が上空で開発せず消費位置より約115m(安全距離外)の観覧場所対岸の墓地内に落下した。なお、黒玉は花火鑑賞者が発見し消防団員に渡した。
6	7月22日 20:41頃	愛知県 名古屋市	0	0-0	C2	花火大会において、通称小型煙火1個が発射による反動で傾き、消費位置から約41m地点(安全距離外)の観客がいる方向へ内筒が3発ほど飛翔し開発した。
7	7月27日 20:35頃	和歌山県 白浜町	0	0-0	C2	海岸で行われた花火大会において、4号玉の斜め打ち(割物)1発が開発せず海に落下した。大会翌日から1週間、主催者及び煙火業者による黒玉の探索がなされたが発見に至らなかった。
8	7月29日 20:00頃	岐阜県 大垣市	0	0-0	C1	花火大会にて煙火(20号玉1個)が、打上直後に開発し、花火大会関係者の車両2台が一部損傷した。

9	7月29日 20:10頃	広島県 廿日市市	0	0-0	C2	花火大会において、スターメイン4号玉20発を消費中、最初から7発目が地上約10mで開発した後、筒ばね2発と地上開発1発が発生した。
10	7月30日 19:50頃	山形県 新庄市	0	0-2	B1	花火大会において、スターメイン(3号と2.5号の重ね玉10筒、4号と2.5号の重ね玉1筒)を直接点火(速火線へガスバーナー点火)で消費中に、1筒目は通常通り打ち揚がったが、2筒目から10筒目が筒ばねし従事者2名(点火係及び防火紙を外す助手)がステンレス製打揚筒の破片に当たり負傷した。
11	8月3日 20:45頃	島根県 邑南町	0	0-0	C2	夏祭りでは2.5号玉を早打ち(焼金式)で消費中、1発が開発せず地上へ落下した。落下場所は、消費位置直近の水田の中で、3日間探索したが発見されなかった。
12	8月5日 20:00頃	宮城県 仙台市	0	0-0	C2	花火大会終了後、現場確認を行っていたところ、3号打揚筒1本が破損しているのを発見した。
13	8月5日 20:15頃	千葉県 千葉市	0	0-0	C1	花火大会において、スターメインの4号玉が筒ばねを起こし、ステンレス製筒4本を破損した。
14	8月5日 20:02頃	埼玉県 三郷市	0	0-2	C1	河川敷で行われた花火大会において、消費位置から約140m地点(安全距離外)に煙火の一部が落下し、その火花により花火を鑑賞していた観客2名が火傷を負った。
15	8月10日 19:40頃	栃木県 那須町	0	0-1	C1	湖畔で連日にわたり開催された花火大会において、通称小型煙火(水面打ち出し仕掛48連)を発射角度45度で消費中に、星の一部と推定される火の粉が消費位置から約100m地点(安全距離外)の観客席に飛び込み、観客2名が火傷を負った。
16	8月13日 20:15頃	京都府 京丹波町	0	0-0	C2	花火大会において、2.5号玉打揚時(ロングヒューズヘバーナー点火)に打揚筒から星が吹き上がるかたちで開発した。
17	8月12日 20:15頃	愛知県 東海市	0	0-0	C2	花火大会終了2日後に、打揚場所周辺の清掃を行っていた清掃業者が消費位置から約50m地点(安全距離内)で黒玉(3号玉)1個を発見した。
18	8月14日 20:30頃	島根県 安来市	0	0-2	C1	港で開催された花火大会において、打揚筒から打ち込んだ水中煙火が安全距離外で開発し、強風に流された火の粉や燃え殻が発射位置から約350m離れた対岸岸壁のイベント会場付近で見物していた観客に当たり、2名が軽傷(火傷)を負った。
19	8月15日 20:15頃	京都府 京丹後市	0	0-0	C2	花火大会において、開始15分後に打ち揚げた5号玉が開発せず、近くの茂み(安全距離外で主催者の管理地)で落下音がしたため、黒玉発生と判断し探索を実施したが、発見に至らなかった。

20	8月15日 20:30頃	富山県 富山市	0	0-1	C1	花火大会において、通称小型煙火の部品(25mm程度の石膏製の底栓と思われる)が消費位置から約55m付近(安全距離外)に飛散し、見物していた観客1名の額に当たり軽傷を負った。
21	8月16日 21:00頃	兵庫県 朝来市	0	0-0	C1	花火大会の最終プログラムで、スターメイン3号玉(号砲で3号と3号の重ね玉5筒)一斉点火で筒ばねが発生し、消費場所付近(安全距離内)の施設等が破損した。
22	8月20日 21:15頃	長崎県 雲仙市	0	0-1	C1	花火大会において、終了直前の2.5号玉打揚中(直接点火で振り込み式)に、女兒が消費位置から約80m(安全距離外)のグラウンド横車道側歩道を歩行中、煙火の残滓と考えられるものが足に当たり両足に火傷を負った。
23	8月26日 19:48頃	宮城県 仙台市	0	0-0	C2	花火大会において、3号打揚筒3本(グラスファイバー製)で筒ばねが発生した。
24	9月2日 21:00頃	宮城県 都城市	0	0-0	C2	花火大会において、フィナーレに冠(カム口)を打ち揚げたところ、火の粉が消費位置から61m地点(安全距離内)の竹藪に自生する下草及び落ち葉に落下し、約0.4㎡を焼失した。
25	9月18日 21:07頃	愛知県 田原市	0	0-0	C2	花火大会開催中に、煙火の火の粉が飛散し、消費位置から約100m地点(安全距離内)の枯草に燃え移り約42㎡を焼失した。
26	9月19日 14:45頃	宮城県 小林市	0	0-1	C1	中学校の運動会終了の合図のために音花火を打ち揚げた際に、着火しなかったため再点火しようと打揚筒に近づいたところ、煙火玉が約5m程度まで打ち揚がり、筒から約4.7m離れた地点に落下した後に開発し、従事者(教員)1名が軽傷を負った。
27	10月7日 16:42頃	愛知県 豊橋市	0	0-0	C2	「大のし(台付きの大筒噴出煙火)」へ、振込棒で点火しようとしたところ、点火までの間に底抜けを生じた。さらに予備の振込棒を使用したところ、点火間際に破裂したため、最終的に別の方法(ロー火)により点火を行った。
28	10月7日 20:25頃	宮城県 都城市	0	0-2	C1	祭りの煙火消費中に(直接点火で振り込み方式と思われる)、3号玉1発が筒内で破裂し、従事者(高齢者)が軽傷を負うとともに、消費位置から約60m離れた遊具(安全距離内)で遊んでいた女兒に筒の破片の一部が当たり軽傷を負った。
29	10月20日 15:40頃	神奈川県 伊勢原市	0	0-0	C2	ツキノワグマを追い払うため、動物駆逐用煙火(連続発射式)をホルダー(長さ約1mの竹筒)に設置して使用していたところ、3連発の内1発目が、煙火の筒体部の出口付近で暴発し、先端約10cmが吹き飛んだ。なお、ホルダー(竹筒)に破損はなかった。
30	11月26日 9:30頃	千葉県 四街道市	0	0-2	C1	サバイバルゲーム場において、サバイバルゲームの開始合図として動物駆逐用煙火を使用したところ、途中で導火線の火が消えてしまったため、再度導火線に点火し、投げようとしたところ途中で爆発し、使用者が右手首の付け根に裂創を負った。また、爆発の際に使用者の周囲に3名がいたが、内1名が腹部に切り傷を負った。
合計		30件	0	0-14		

その他事故

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
1	5月25日 13:50頃	長野県 上田市	0	0 - 1	C1	高齢の女性が、亡くなった配偶者の遺留品を整理し、不要になったものを自宅敷地内で焼却処分していたところ、燃えている不要品の中から異音が生じたため覗き込んだ際に突然破裂し、顔に火傷を負った。 現場に駆け付けた消防が、近隣住民や親族から聞いた状況及び残された残骸等から推測すると、不要品の中に混じっていたらつきょう型煙火(長さ6cm、球状部直径3cm)が破裂したものである。
2	7月26日 13:50頃	香川県 坂出市	0	1 - 1	B1	煙火製造所で火災が発生して煙火が爆発し、代表者が重傷、従業員1名が軽傷を負った。なお、火災は消防車9台が出動し約2時間後に鎮火した。
合計			2 件	0	1 - 2	

(がん具煙火)

消費中

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
1	3月20日 14:26頃	山形県 東根市	0	0 - 0	C2	空港において、鳥追いのために使用したロケット花火の残り火が枯草に引火し、着陸帯及び草地8,750㎡を焼失した。
2	3月30日 11:00頃	富山県 射水市	0	0 - 0	C2	ゴルフ場のコース内で、モグラ駆逐のため、着火した緊急保安炎筒を巣穴に入れたところ、火が周辺に燃え広がった。当該作業は、今回初めて試験的に実施したもので、付近に水を入れたバケツを準備していたが、消火しきれず燃え広がり、ゴルフコース内の雑草等約940㎡を焼失した。
3	5月25日 5:40頃	宮城県 気仙沼市	0	0 - 1	C1	カラスの鳴き声がうるさかったため、住宅2階の窓からロケット花火3本に火をつけて屋外に向け打ち上げ、部屋を離れた後、同室のカーテン等から炎が上がったもの。初期消火を行った居住者が軽傷を負った。
4	5月25日 21:00頃	北海道 札幌市	0	0 - 0	C1	一般住宅屋外のウッドデッキ上で、がん具煙火(手持ち花火)を使用したところ、ウッドデッキが焼損した。
5	6月4日 15:50頃	香川県 高松市	0	0 - 0	C1	男子中学生5名が、がん具煙火(煙玉)等で遊んでいたところ、風に吹かれた煙玉が転がり下草火災が発生。予め用意していたバケツの水で消火を行うとするも、消火できないと当事者自らが判断し、消防へ通報した。火災の結果、下草約44㎡を焼失、電柱支持線保護カバー2本の一部を焼損した。

6	7月16日 21:38頃	和歌山県 由良町	0	0 - 1	C1	子供数人が手持ち花火で遊んでいたところ、火花が幼児の顔に当たり、軽傷(火傷)を負った。(事故発生時、大人は不在。)
7	7月17日 16:04頃	大阪府 大阪市	0	0 - 0	C2	河川敷で高校生5人程度が、がん具煙火に火をつけて投げて遊んでいたところ、枯草に火種が着火し、周囲の枯草約470㎡を焼失した。
8	7月18日 20:00頃	長野県 長野市	0	0 - 0	C2	公園において家族で花火をしていたところ、当事者である小学生(低学年)が手持ち花火を立ち木に向け消費中に、花火の火が立ち木に燃え移った。
9	7月26日 19:41頃	北海道 札幌市	0	0 - 0	C1	屋外でがん具煙火(手持ち花火)を消費したところ、付近にあったスタッドレスタイヤ4本、建物の外壁等が焼損した。
10	8月4日 20:41頃	北海道 札幌市	0	0 - 2	C1	花火大会(がん具煙火のみ使用)において、親子でがん具煙火(市販されている打上花火)を鑑賞していたところ、がん具煙火の火の粉が着衣に着火し親子が負傷した。
11	8月13日 22:29頃	愛知県 名古屋市	0	0 - 0	C1	がん具煙火の火種により木造平屋建て倉庫の壁体が一部焼損した。なお、火災発生時、がん具煙火の消費者は既に現場を立ち去っていた。
12	8月16日 20:00頃	静岡県 富士市	0	0 - 1	C1	手筒煙火を消費中に、従事者の腹掛けポケットに入れていたがん具煙火(子供対象の手筒花火体験用に小型の手筒に固定するため外装を外した吹出し花火)に、手筒煙火の火の粉が着火し従事者が火傷を負った。
13	8月21日 00:56頃	千葉県 千葉市	0	0 - 0	C2	がん具煙火を消費中、下草に着火し約10㎡焼失した。なお消費者は、消防隊到着時には立去ってしまったため、細部は不明。
14	8月23日 20:30頃	大阪府 阪南市	0	0 - 1	C1	大学生数人が、がん具煙火(打上花火)を消費中、誤って筒を覗き込んだところ、飛翔した火花により顔面に軽傷(火傷)を負った。
15	8月28日 20:25頃	和歌山県 田辺市	0	0 - 0	C2	県所有の荷さばき場で少年2名が吹出し花火を行っていたところ、花火の火が下草に着火し燃え広がり、下草約17㎡を焼失した。
16	9月1日 22:35頃	愛知県 田原市	0	0 - 0	C2	がん具煙火(乱玉)を4本同時に着火したところ、いずれかの火花が椰子の木上部に当たり出火し、椰子の木上部の一部及び芝生1㎡を焼失した。
17	9月5日 16:39頃	愛知県 岡崎市	0	0 - 0	C1	果樹園に現れた猿を威嚇するため使用したロケット花火4本のうちの1本が、物置内に飛び、物置内の梨袋に着火し、物置及び周辺の枯草に燃え広がった。
合計		17件	0	0 - 6		